

教育研究評議会要旨

日 時	場 所	欠 席 者	陪 席 者
平成19年6月15日（金）13時30分	事務局大会議室	医学部長、 医学部評議員	常勤監事、 医学部副学部長

(はじめに)

議事に先立ち、学長から、医学部長及び医学部評議員が欠席のため、医学部副学部長を陪席させたい旨発言があり、了承された。

次いで、学長から、5月18日開催の教育研究評議会要旨の確認が行われ、了承された。

1. 審議事項

(1) 平成20年度香川大学入学者選抜要項について

教育担当理事から、審議資料1に基づき、5月25日開催のアドミッション委員会において審議了承された標記要項(案)について、実施教科・科目等、実施日程、募集人員など、昨年度からの変更点等の説明があり、審議の結果、原案を承認した。

なお、評議員から、私費外国人留学生特別選抜の出願資格を、在留資格「留学」を有する者(見込みを含む。)としたことについて、永住権を取得している外国人に対し門戸を狭めることになるのではないかとの意見があった。

(2) 平成18事業年度に係る業務の実績に関する報告書について

連携・評価担当理事から、審議資料2及び参考資料に基づき、国立大学法人法第35条の規定により毎年6月末までに国立大学法人評価委員会に提出し評価を受けることとされている標記報告書について、6月1日開催の大学評価委員会において報告書(素案)が了承された旨説明があり、審議の結果、原案を了承した。

なお、同理事から、各部局に対して、各項目の記載内容について意見がある場合は、6月19日までに意見を出してほしい旨発言があった。

(3) 香川大学教授会規則の一部改正について

総務・財務担当理事から、審議資料3に基づき、センター再編による機構設置に伴い、所要の事項を整備するため標記規則を一部改正することについて説明があり、審議の結果、原案を了承した。

2. 報告事項

(1) 科学研究費補助金等外部資金の獲得状況について

学術担当理事から、報告資料1に基づき、平成19年度における科学研究費補助金の採択状況を各部局等別に分析した結果、並びに平成18年度におけるその他の外部資金の獲得状況について報告があった。

また、同理事から、申請件数及び採択件数の向上のための取組を役員会において検討していること、及びその概略について報告があった。

なお、学長から、採択件数及び獲得金額ともに重要だが、現時点では特に採択件数の向上を目指すべく、各部局の取組と実績を評価することが必要である旨発言があった。

評議員から、以下のとおり意見があった。

- ① 科学研究費補助金申請アドバイザーが多忙であり、現状では制度維持が難しいので、インセンティブの付与を検討してはどうか。
- ② 実務家教員や新任教員が科研費に応募することは難しい。彼らを現員数に含めると、現員数が少ない部局においては応募率や獲得率が著しく低下するので配慮

してほしい。

(2) 平成19年度大学運営特別経費の選考結果について

連携・評価担当理事から、報告資料2に基づき、学内に公募していた標記経費の事業について、5月24日開催の役員会において最終選考した旨報告があった。

(3) 平成19年度地域貢献推進経費の選考結果について

連携・評価担当理事から、報告資料3に基づき、学内に公募していた標記経費の事業について、5月24日開催の役員会において最終選考した旨報告があった。

(4) 平成19年度国立大学教養教育実施組織会議について

教育担当理事から、報告資料4に基づき、5月25日及び26日に佐賀市において開催された標記会議について報告があった。

また、同理事から、5月26日及び27日に本学の当番により開催した第55回中国・四国地区大学教育研究会について報告があった。

(5) 平成18年度(第10回) 学生生活実態調査報告書の発行について

教育担当理事から、標記報告書を作成し学内に配布したこと、そのうち「本編」は文部科学省及び各国立大学法人にも送付したことについて報告があった。

また、同理事から、「自由記述編」で出された学生からの意見について、まず、学生生活委員会において分析を行った上で、関係部局に改善に向けて検討・対応を依頼するので協力してほしい旨要請があった。

なお、学長から、本報告書は発行することが目的ではなく、学生の意見を活用することが本来の目的であるので、今後の活用に重点を置き大学運営に生かしてほしい旨発言があった。

(6) 第6回2006(平成18年度) 年度留学生学生生活実態調査報告書の発行について

教育担当理事から、標記報告書を作成し学内に配布したことについて報告があった。

また、同理事から、本実態調査を検証し、留学生の教育・研究生活の改善を図るため、10月31日(水)に「香川大学留学生学生生活実態調査研究発表会(シンポジウム)」の開催を計画している旨報告があった。

(7) 平成20年度香川大学大学院学生募集について

教育担当理事から、報告資料5に基づき、各々の研究科委員会又は教授会において審議承認した標記学生募集について報告があった。

(8) 平成19年3月卒業者就職状況等について

教育担当理事から、報告資料6に基づき、平成19年3月卒業者の5月1日現在における就職状況(就職率、進路確定率、進路把握率)について報告があった。

(9) 平成19年度クリーンキャンパス(構内清掃)の実施について

教育担当理事から、報告資料7に基づき、標記のことについて、職員及び学生により7月4日に実施する旨報告があった。

(10) 本学工学部及び大学院工学研究科と長春理工大学工科系学院(中華人民共和国)との学部間学術交流協定及び学術交流協定に関する実施細則の締結について

学術担当理事から、報告資料8に基づき、学術国際交流を推進するため、標記協定及び実施細則を新規に締結することについて、5月10日開催の学術国際交流委員会において承認された旨報告があった。

(11) 平成19年度香川大学国際交流基金の募金活動について

学術担当理事から、報告資料9に基づき、国際交流事業推進のために行う平成19年度募金活動計画について、5月10日開催の学術国際交流委員会において承認された旨報告があった。

(12) 法科大学院認証評価について

連携・評価担当理事から、法科大学院については学校教育法第69条及び学校教育法施行令第40条により認証評価機関による評価を受けるよう定められており、今年度は、昨年度受検した予備評価結果の指摘を踏まえ改善を図り、大学評価・学位授与機構が実施する本評価を受検する予定である旨説明があり、6月1日開催の大学評価委員会において、自己評価書を審議了承した旨報告があった。

(13) 法科大学院平成19年新司法試験の受験状況について

連合法務研究科長から、報告資料10に基づき、5月15日に実施された標記試験の受験状況及び短答式試験結果について、法務省が6月7日に公表したこと、並びに本学の状況について報告があった。

(14) 本学における百日咳及び麻疹（はしか）への対応について

保健管理センター所長の学術担当理事から、報告資料11に基づき、百日咳の罹患等の状況（6月14日18時現在）について報告があった。

次いで、教育担当理事から、百日咳の罹患状況の推移に加えて、工学部学生1名が麻疹に感染していることが6月8日に判明したことから、四国地区大学総合体育大会への参加を取り止めること、並びに正課（授業）を除き、学内外のサークル活動等の集団活動を6月30日まで禁止することについて報告があった。

労務担当理事から、職員への対応として、学生への対応と同様に、学内において本学が主催又は共催する諸行事等は6月30日まで中止又は延期することについて報告があった。

なお、評議員から、以下のとおり意見があった。

- ① 届出をせずに活動している学生団体(同好会等)について、対応を検討する必要があるのではないか。
- ② 正課以外での体育施設の使用禁止について指示が徹底されていないのではないか。
- ③ 授業に関わる説明会及び学外における実習について、正課の一環として実施を認めてほしい。

また、学長から、正課であっても学外で行う場合には十分な注意を払ってほしい旨発言があった。

3. その他

(1) 香川大学同窓会連合会設置について

教育担当理事から、資料1に基づき、標記連合会の設置に伴い、7月8日（日）に記念講演会、同窓会連合会設立総会及び記念祝賀会の開催を予定している旨案内があった。

(2) 香川大学における教育、研究、社会貢献に係る実績等の取りまとめについて

学長から、政府において国立大学の改革が盛んに議論されている中、地方の国立大学が果たす役割について示す必要があり、また、本年7月に開催される全国知事会に向けて、香川県知事に本学が果たしてきた地域貢献の成果を説明したいので、各部局における地域（香川県）あるいは地域外（全国・世界）に貢献した教育、研究、社会貢献の過去3年間における実績を取りまとめの上、6月25日までに提出してほしい旨要請があった。

閉会 15時45分